

「分かり易さに関する 手法・アプローチ」に係る ベストプラクティス集

2014年3月26日

経済産業省

本ベストプラクティス集の位置づけ

- 本ベストプラクティス集は、平成25年9月より行った「事前相談評価」の試行において、協力事業者が提案した「パーソナルデータの取扱いに関する消費者に対する情報提供、説明」の内容のうち、消費者との間の信頼関係を構築しようとする事業者が、この情報提供、説明を行おうとする際に参考になる事例を、経済産業省が取りまとめたものである。
- パーソナルデータを利活用したサービスを提供する事業者においては、本ベストプラクティス集を参考に、自己の取組をさらに望ましいものとする事が期待される。

今回実施した事前相談評価の試行の概要

【サービスの概要】
このサービスは、「個人の行きたい場所を提案して地図画面に表示する」サービスです。

【本サービスが利用する情報】
このサービスを実現するために、利用者の以下の情報を取得します。
サービス提供に当たって取得が必須でない情報項目

- **操作時刻情報**：あなたの一日のライフサイクルを知るために利用します。
- **購買情報**：あなたが購入したものから興味ある情報を分析します。
- **趣味情報**：将来の新規サービス開発のために利用します。

サービス提供のため取得が必要な情報項目

- **GPS情報**：今まで行った場所を保存します。(必須)

【情報の利用範囲】
取得した××情報は〇〇のために、△△社に限り提供します。

【情報提供の停止方法】
尚、以下の情報は、[こちら](#)から提供を停止することができます。

- 趣味情報
- 操作時刻情報
- 購買情報

さらに詳細な [利用規約](#)、[プライバシーポリシー](#) はこちら。

パーソナルデータの利用方法等について分かりやすい表示を実施

協力事業者



作成、評価依頼

評価、助言

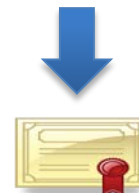


相談・評価の試行の成果として、事業者がパーソナルデータを取得する際に満たすべき、消費者に対する情報提供、説明の内容に係る事前相談評価の「評価基準」を策定

消費者の納得・受容が得られるアプローチとなるよう、相談・評価。



経済産業省



安心して
利用可能



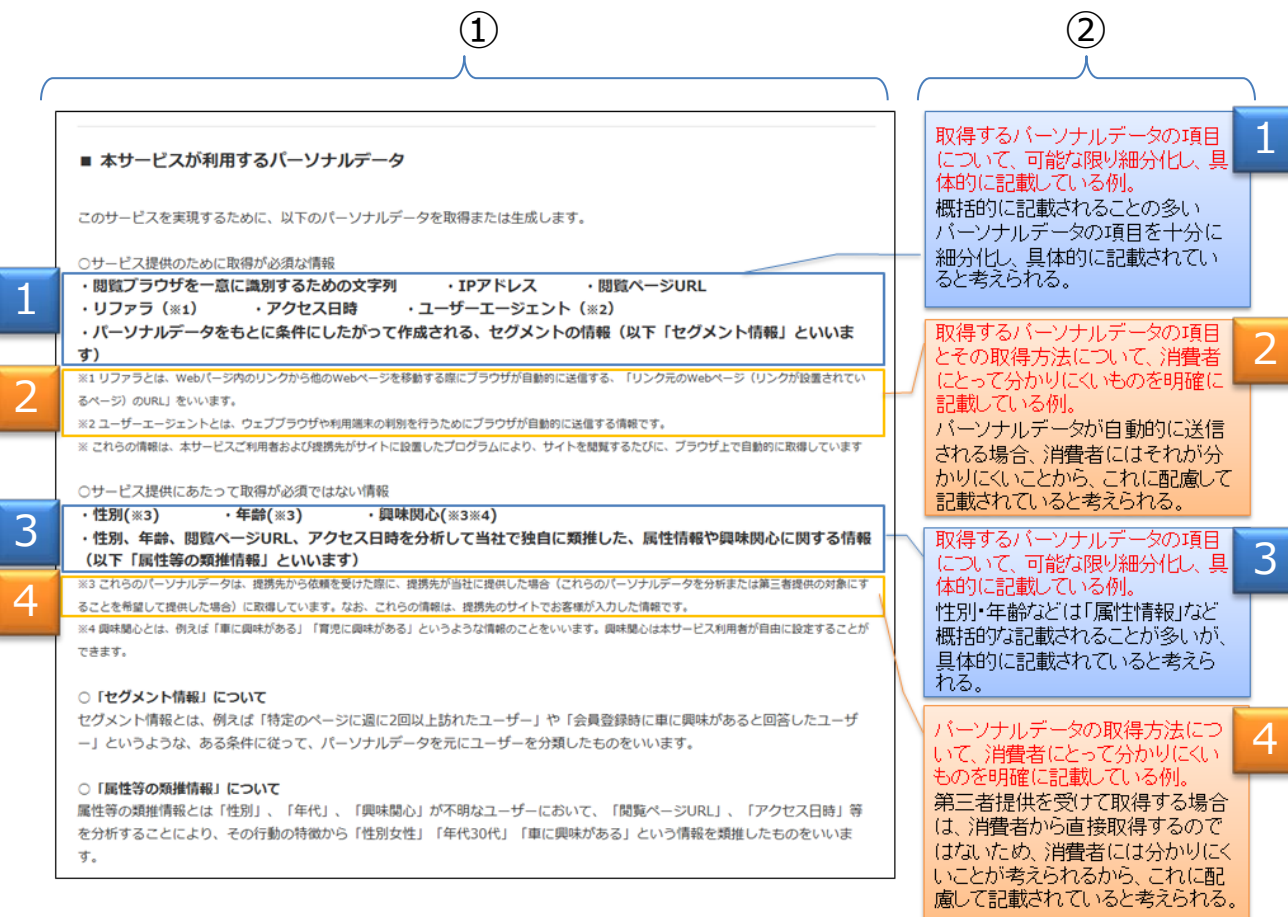
消費者

モデルとなるような実践例をベストプラクティスとして公表
⇒本ベストプラクティス集

はじめに：本ベストプラクティス集の使用法

本ベストプラクティス集の使用法

- 本ベストプラクティス集は2つの部分から構成されている。
 - ① 協力事業者が提案した「パーソナルデータの取扱いに関する消費者に対する情報提供、説明」のうち、「他者が参考にすべき」と評価された箇所（青又は黄色の四角で囲われた部分）を示す部分
 - ② 「他者が参考にすべき」との評価にかかわる評価基準の該当箇所（赤字で記載。）と、その理由等を示す部分



例えば、①の **1** と②の **1** が対応。
 ①の **1** は、取得するパーソナルデータの項目が可能な限り細分化され、具体的に記載されていると評価されたことを示す。
 なお、青と黄色の色分けは、①と②との間の対応関係を見やすくするために色分けしたもので、色の違いに特段の意味はない。

参考：評価項目一覧

○ 評価基準一覧

I 記載事項

(1) 必要十分な記載事項

1. パーソナルデータの取扱いに関する情報として、以下の7項目が記載されていること
 - 1) 提供するサービスの概要
 - 2) 取得するパーソナルデータと取得の方法
 - 3) パーソナルデータの利用目的
 - 4) パーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータの第三者への提供の有無及び提供先
 - 5) 消費者によるパーソナルデータの提供の停止・訂正の可否及びその方法
 - 6) 問合せ先
 - 7) 保存期間、廃棄

II 記載方法

(1) 取得するパーソナルデータとその取得方法に係る記載方法

2. 取得するパーソナルデータの項目とその取得方法について、可能な限り細分化し、具体的に記載していること
3. 取得するパーソナルデータの項目やその取得方法のうち、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載していること

(2) パーソナルデータの利用目的に係る記載方法

4. 取得するパーソナルデータの利用目的を特定し、具体的に記載していること
5. パーソナルデータの利用目的が、取得するパーソナルデータの項目と対応して記載されていること
6. 取得するパーソナルデータの利用目的のうち、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載していること

(3) 第三者への提供の有無及びパーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータの提供先に係る記載方法

7. 事業者が取得するパーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その提供先（事後的に提供先を変更する場合は提供先の選定条件を含む）及び提供目的が記載されていること
8. 事業者が取得したパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その加工方法が記載されていること

(4) 消費者によるパーソナルデータの提供の停止の可否及びその方法に係る記載方法

9. 消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載していること

「他者の参考になる」協力事業者による
「消費者に対する情報提供、説明」

(ベストプラクティス)

サービス概要

- 自社サービスや提携先の様々なサイトからWebページの閲覧履歴を取得して分析することで、利用者（実際には閲覧ブラウザ単位。以下同じ。）の属性や興味関心を類推して、利用者に合ったコンテンツや広告を表示するためのデータを作成し、提携先に提供する「データプラットフォーム」を運営する。

パーソナルデータの利活用の特徴

- 閲覧ブラウザを一意に識別する文字列、閲覧ページURL、「リファラ」等を分析して、閲覧ブラウザごとに属性や興味関心を類推したり、例えば特定のページに週2回以上訪れた利用者など、特定の条件ごとに利用者を分類したりして、それらの類推結果・分類結果を、提携先事業者に対して自社の提供するプラットフォーム等を通じて提供（第三者提供）している。提携先事業者では、提供を受けたパーソナルデータを、当該閲覧ブラウザに対して最適なコンテンツや広告を表示するために利用している。
- 「リファラ」など、取得しているパーソナルデータの内容が、一般消費者にとっては聞きなれないものである。
- 「リファラ」など、ブラウザが自動的に取得するものについては、消費者はその取得と利用に気がつきにくいものである。
- パーソナルデータの取得を中止できるようにしている。

実践案における事業者の工夫

- 第三者提供を利用目的にすることについては、一般的に消費者にとって分かりにくいのが、第三者に提供されているパーソナルデータの項目も含めて明確に説明しており、かつ、パーソナルデータの項目ごとに、消費者が第三者提供を停止できるようになっている。
- 「リファラ」など、消費者が聞きなれないパーソナルデータについて、注書きで分かり易く説明し、また、ブラウザが自動的に取得するものについて、注書きで自動で取得される旨を説明している。
- 一般的に「属性情報」などと概括的に記載されることの多い年齢、性別などの情報について、「年齢」、「性別」と明確に記載して、その範囲が消費者に分かるように具体的に記載している。
- 消費者がパーソナルデータの取得を簡単に中止できるようなシステムを提供し、その旨と中止の方法を分かり易く説明している。

ベストプラクティス（１）：株式会社スピーシーズ

■ 本サービスが利用するパーソナルデータ

このサービスを実現するために、以下のパーソナルデータを取得または生成します。

○サービス提供のために取得が必須な情報

- ・ 閲覧ブラウザを一意に識別するための文字列
- ・ IPアドレス
- ・ 閲覧ページURL
- ・ リファラ（※1）
- ・ アクセス日時
- ・ ユーザーエージェント（※2）
- ・ パーソナルデータをもとに条件にしたがって作成される、セグメントの情報（以下「セグメント情報」といいます）

※1 リファラとは、Webページ内のリンクから他のWebページを移動する際にブラウザが自動的に送信する、「リンク元のWebページ（リンクが設置されているページ）のURL」をいいます。

※2 ユーザーエージェントとは、ウェブブラウザや利用端末の判別を行うためにブラウザが自動的に送信する情報です。

※ これらの情報は、本サービスご利用者および提携先がサイトに設置したプログラムにより、サイトを閲覧するたびに、ブラウザ上で自動的に取得しています

○サービス提供にあたって取得が必須ではない情報

- ・ 性別（※3）
- ・ 年齢（※3）
- ・ 興味関心（※3※4）
- ・ 性別、年齢、閲覧ページURL、アクセス日時を分析して当社で独自に類推した、属性情報や興味関心に関する情報（以下「属性等の類推情報」といいます）

※3 これらのパーソナルデータは、提携先から依頼を受けた際に、提携先が当社に提供した場合（これらのパーソナルデータを分析または第三者提供の対象にすることを希望して提供した場合）に取得しています。なお、これらの情報は、提携先のサイトでお客様が入力した情報です。

※4 興味関心とは、例えば「車に興味がある」「育児に興味がある」というような情報のことをいいます。興味関心は本サービス利用者が自由に設定することができます。

○「セグメント情報」について

セグメント情報とは、例えば「特定のページに週に2回以上訪れたユーザー」や「会員登録時に車に興味があると回答したユーザー」というような、ある条件に従って、パーソナルデータを元にユーザーを分類したものをいいます。

○「属性等の類推情報」について

属性等の類推情報とは「性別」、「年代」、「興味関心」が不明なユーザーにおいて、「閲覧ページURL」、「アクセス日時」等を分析することにより、その行動の特徴から「性別女性」「年代30代」「車に興味がある」という情報を類推したものをいいます。

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの項目を十分に細分化し、具体的に記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの項目とその取得方法について、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載している例。

「リファラなど」、消費者が聞きなれない言葉を丁寧に記載し、また、パーソナルデータが自動的に送信される場合、消費者にはそれが分かりにくいことから、これに配慮して記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

性別・年齢などは「属性情報」など概括的な記載されることが多いが、具体的に記載されていると考えられる。

パーソナルデータの取得方法について、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載している例。

第三者提供を受けて取得する場合は、消費者から直接取得するのではないため、消費者には分かりにくいことが考えられるから、これに配慮して記載されていると考えられる。

■ 利用目的と利用する情報

利用目的と利用目的詳細、利用する情報を、重要と考えられる項目から順に以下の表に記載しています。

利用目的	利用目的詳細	利用する情報
第三者提供	提供を受けた第三者は下記の目的のために右記の情報を利用しています ・当該ブラウザをご利用のお客様にあった広告やコンテンツを表示するため ・広告の効果の分析のため ・市場分析、マーケティングのため 第三者提供先一覧はこちら	- 閲覧ブラウザを一意に識別するための文字列 - セグメント情報 - 属性情報 - 興味関心情報 - 属性等の類推情報
属性等の類推情報の作成	右記のデータを分析し、当社独自のアルゴリズムにより、性別、年代、興味関心の情報を類推しています	- 閲覧ブラウザを一意に識別するための文字列 - 閲覧ページURL - アクセス日時 - 性別 - 年齢
市場分析	右記のデータを利用することにより、サービスご利用者様サイトの男女の割合、年代の割合、興味関心等を分析しています	- セグメント情報 - 属性情報 - 興味関心情報 - 属性等の類推情報
不正行為等の監視	右記のデータを利用することにより、同一ブラウザからの大量アクセス等の不正行為を監視しています	- 閲覧ブラウザを一意に識別するための文字列 - IPアドレス - ユーザーエージェント - 閲覧ページURL - アクセス日時

パーソナルデータの利用目的が、取得するパーソナルデータの項目と対応して記載されている例。
利用目的ごとに利用する情報がまとめて記載されており、対応関係が分かり易く記載されていると考えられる。

取得するパーソナルデータの利用目的のうち、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載している例。
第三者提供は、サービス内容から必然的に必要になる場合を除き、一般的に消費者にとっては分かりにくいところ、これを明確に説明していると考えられる。

消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例。
パーソナルデータの取得の中止方法が分かり易く説明されていると考えられる。

■ パーソナルデータの取得の停止

以下の「パーソナルデータの取得を停止する」ボタンから、パーソナルデータの取得を中止することができます。パーソナルデータの取得を中止すると、以後、属性の類推情報の作成対象から除外されます。このため、第三者提供の対象にもなりません。なお、この操作を行うと全ての情報について取得を停止することになります。個別の項目ごとに取得を停止することはできません。

※ パーソナルデータの取得を停止する操作はブラウザごとに行う必要があり、また、以降パーソナルデータは取得されなくなりますが、クッキーの削除やPCの変更等により、この設定が無効化されると再度取得が開始される場合があります。

パーソナルデータの取得を停止する

■ 第三者提供の停止

このページを閲覧しているブラウザに関するパーソナルデータで、第三者に提供されているものがある場合、以下の表より確認することができます。第三者提供を拒否したい場合は、チェックボックスより第三者提供を拒否したい項目を選択し、「選択したセグメントの削除」ボタンを押してください。

このページを閲覧しているブラウザに関するパーソナルデータ	
☐	セグメント名
☐	【興味関心】投資
☐	【興味関心】コスメ
☐	【興味関心】ゲーム>パズドラ（強）
☐	【地域】IP__東京
☐	【興味関心】ページ閲覧__ニュース>ゴシップ
☐	【デモグラフィック】職業__自営業
☐	【興味関心】ページ閲覧__エンタメ>ゲーム
☐	【デモグラフィック】年齢__30代前半
☐	【デモグラフィック】性別__男性
☐	【興味関心】ページ閲覧__車/バイク
☐	【興味関心】ページ閲覧__ファッション
☐	【興味関心】ページ閲覧__芸能

選択したセグメントの削除

消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例

利用目的である第三者提供について、利用（第三者提供）の停止方法が分かり易く説明されていると考えられる。また、情報項目ごとに利用（第三者提供）を停止することができるようになっている。

サービス概要

- 特定の地域（ショッピングモールなど）におけるパーソナルデータの取扱いに関するポリシーを利用者が自ら決定することができるようにし、そのポリシーを一括管理することで、当該地域内における企業等がこれに従って当該利用者のパーソナルデータを利用できるようにするためのプラットフォーム（Privacy Policy Manager）を提供するサービス。

パーソナルデータの利活用の特徴

- パーソナルデータを利活用して消費者に対して直接サービスを提供するというものではなく、プラットフォームに参加している事業者によるパーソナルデータの利用を、消費者が自ら管理できるサービスを提供している。
- プラットフォームに参加している事業者は、プラットフォームを利用して様々な情報を取得する可能性がある。

実践案における事業者の工夫

- 取得する情報項目は、プラットフォームに参加している事業者の提供するサービスによって異なるため、プラットフォームの利用規約において、利用する情報を細分化して具体的に全て記載している。
- 例えば、プラットフォームに参加している事業者において取得するパーソナルデータの項目とその利用目的を対応して表示できるような機能を提供するなど、プラットフォームに参加している事業者によるパーソナルデータの利活用に関する情報を、消費者が理解し易いように工夫している。
- プラットフォームに参加している事業者によるパーソナルデータの取得について、情報項目ごとに取得の可否を選択できるような機能を提供している。

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。
 概括的に記載されることの多いパーソナルデータの項目を十分に細分化し、具体的に記載していると考えられる。

パーソナルデータの利用目的が、取得するパーソナルデータの項目と対応して記載されている例。
 情報項目ごとに利用目的を分類し、対応関係が分かり易く記載されていると考えられる。

PPM

都市情報活用
基盤構築プロジェクト

共通プライバシーポリシー

共通プライバシーポリシーに関して

◆適用範囲

○ 二子玉川ライズにおいて、実証実験として参加してサービス全般を対象とします。サービス一覧は、下「取得者」をご覧ください。

情報の取得に関して

◆取得方法

取得者は、下記の2パターンの何れかの方法で情報を取得する場合があります。

- サービス毎に利用者から直接取得する場合
- 利用者がPPMに登録した情報を、利用者の意志（プライバシーポリシー）に基づいて取得者が必要な情報を取得する場合

◆取得情報

取得者は、サービスに応じて、下記のうち必要最小限の情報を取得する場合があります。サービス毎に取得する情報は、下記の「各サービスの利用規約」をご覧ください。

- 氏名（漢字、フリガナ）
- 性別
- 生年月日
- 住所
- 電話番号（自宅及び携帯電話）
- FAX番号
- メールアドレス
- 位置情報（GPSより取得した緯度経度座標）
- Web閲覧・広告接触等の情報
- 撮影されたユーザーの録画映像（アクセスしたURL、Webコンテンツ、ウェブサイトで入力した検索キーワード）

情報の利用に関して

◆利用目的

取得者は、サービスに応じて、下記のうち必要最小限の情報を取得する場合があります。サービス毎に取得する情報は、下記の「各サービスの利用規約」をご覧ください。

LOGOUT TOP

下へスクロール

PPM

サービス規約

プロバイダ	KDDILABS
サービス	映像メディアレンタル・販売サービス
位置情報	● 使用目的 - お店の位置情報配信 - 二次利用あり - 購買情報分析のため ○ 利用サービス KDDILABS グルメ地図 KDDILABS グルメクーポン
名前	● 使用目的 - 購買履歴情報管理 - 二次利用あり - 購買情報分析 ○ 利用サービス
性別	● 使用目的 - おすすめ映画情報配信 - 購買履歴情報管理 - 二次利用あり - 購買情報分析 ○ 利用サービス

LOGOUT TOP

◆サービス事業者ごとに情報の公開・非公開を設定

メインメニューからリンクをたどり、サービスごとのポリシー設定へ

情報ごとに、公開・非公開を設定し保存

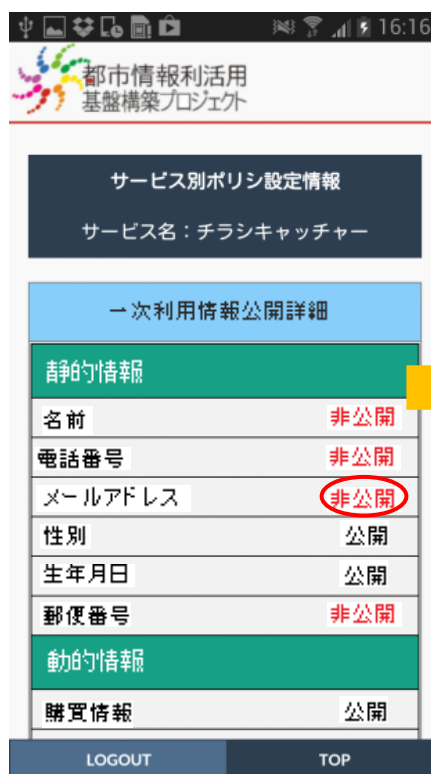
※①～⑦の順に画面を操作して設定

消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例。

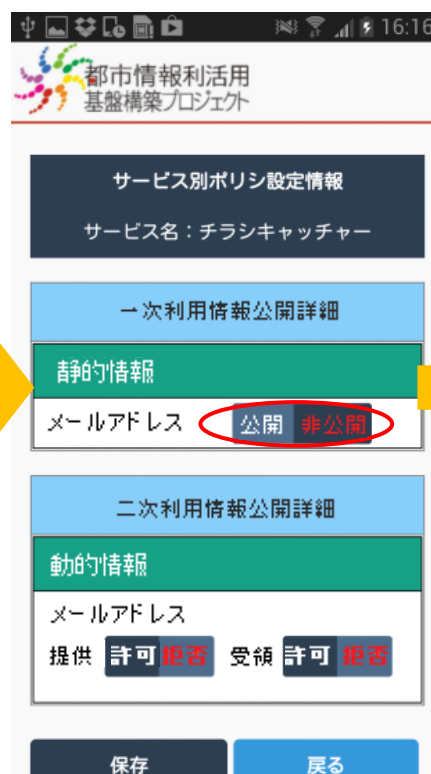
パーソナルデータの取得の中止方法が分かり易く説明されていると考えられる。



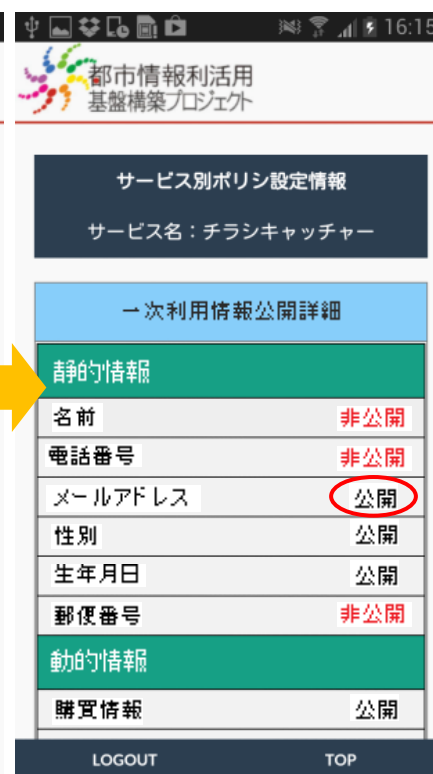
④設定を変更するサービスを選択



⑤設定を変更する情報項目を選択



⑥公開/非公開を選択、「保存」を選択



⑦設定変更完了

◆ 事業者へ提出した情報の確認と削除依頼

履歴の検索機能



サービスと
情報の種別
を選択

該当する情
報にチェッ
クし、削除
を依頼

履歴の表示と削除依頼



消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例。

パーソナルデータの取得の中止方法が分かり易く説明されていると考えられる。

サービス概要

- 街の「盛り上がり」を発信し、共有するソーシャルネットワークサービス。利用者がスマートフォンから写真やメッセージを投稿できるほか、国立情報学研究所が、投稿された街中（位置情報により認識）で撮られた写真（表情解析）やメッセージ（テキストマイニング及び顔文字分析）、心拍数などを分析し、街の盛り上がり状況を地図上に表示して可視化するサービス（実証事業として実施）。

パーソナルデータの利活用の特徴

- KDDI研究所のプラットフォーム（Privacy Policy Manager）を利用してパーソナルデータを取得している。
- 取得及び利用しているパーソナルデータは比較的多岐に渡る。
- 取得した情報は、実証事業を共同で実施する者に対して提供する。「実証事業を共同で実施する者」は、事後的に追加されることが想定されている。

実践案における事業者の工夫

- 多岐にわたる情報項目について、可能な限り細分化して具体的に消費者に説明している。
- 取得方法を細分化して、利用目的を具体的に特定して記載しており、消費者に分かり易く情報を提供している。
- 取得した情報の第三者提供について、提供先の事業者の具体的な名称及び事後的に追加され得る事業者の範囲を明示した上で提供の目的を記載することで、消費者に明確に説明している。

取得情報について

◆取得情報

ユーザーを識別しないがサービス特有の取得属性情報

- 端末センサが取得した位置情報・運動情報
- ユーザーがコンテンツに付与した気分情報
- 心拍センサが取得した心拍情報
- アクセスしたサービスコンテンツ
- アプリケーション操作履歴
- ユーザーの投稿コンテンツ（テキスト、画像）
- ユーザーがコンテンツに付与した評価

ユーザーを識別できる情報

- ユーザーの顔を撮影した画像から抽出した顔特徴量
- Facebook ID
- Twitterアカウント名
- 住所（郵便番号レベル）
- 性別
- 生年月日

◆取得元

- アプリケーション（アプリケーション名：「ニコット」アプリケーション）
- 調査対象店舗内のセンサーカメラ

◆取得時

- ユーザーから送信があった時
- アプリケーションを起動している間
- サービス提供エリア内にてアプリケーションがバックグラウンド動作している間

◆取得方法

- ユーザーからの情報送信（フォームによる入力）
- アプリケーションで設定された間隔での自動取得（アプリケーション起動中に、規定の時間間隔によりセンサ情報を自動取得）
- PPMからのユーザー認証情報の取得（フォームによる入力と利用許諾設定）

◆取得情報の実データ閲覧

- なし

情報利用について

◆利用目的

- サービスの利用者認証
- 各種サービス画面での自動表示、自動入力
- サービス提供に関する通知・お問い合わせ対応
- サービス改善
- ユーザーに提示されるコンテンツのパーソナライズ
- 自研究所および「都市情報活用基盤構築プロジェクト」関連企業におけるサービスおよび技術検証等
- サービスおよび適用技術の実証結果の発表
- その他利用に際しユーザーから個別に得た同意の範囲内、法令に基づく場合に利用すること

◆利用期間

- 不定（ユーザーが退会するまで、ユーザーにより削除されるまで、もしくは実証実験終了まで）

◆情報の開示方法

- ウェブページ
- 電子メール

◆追加条件

第三者提供

- 本研究開発に共同で携わる株式会社KDDI研究所、国立大学法人東京大学、東京急行電鉄株式会社、独立行政法人産業技術総合研究所、一般財団法人日本情報経済社会推進協会とで構成する「都市情報活用基盤構築プロジェクト」関連企業・団体（本サービスの実証を目的として、特定個人が識別できない分析データとして）

利用目的を越えた追加の利用

- なし

二次利用

- なし

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの項目を十分に細分化し、具体的に記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの利用目的を特定し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの利用目的を、具体的に記載していると考えられる。

パーソナルデータの取得方法について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

パーソナルデータの取得方法を具体的に記載していると考えられる。
※どの情報がどの方法で取得されるのかについて一覧で確認できるページが別途用意されている。

事業者が取得するパーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その提供先（事後的に提供先を変更する場合は提供先の選定条件を含む）及び提供目的が記載されている例。

提供先の具体的会社・団体名及びそれら以外に提供する会社・団体の範囲並びに提供の目的が記載されていると考えられる。

サービス概要

- 商業施設等に対して、スマートフォンを利用したスタンプラリーシステムを提供し、スマートフォンから位置情報を取得することによってスタンプラリーを行い、懸賞に応募したり、クーポンを発行したりできるサービス。

パーソナルデータの利活用の特徴

- スマートフォンを対象にしたサービスであり、位置情報を利用してスタンプラリーを行う。
- パーソナルデータはアイリッジがすべて取得する。
- スタンプを取得すると、近隣の店舗等で利用可能なクーポンを取得できる。また、特定のスタンプラリーの全てのスタンプを取得することで、スタンプラリーの主催者が提供する懸賞に応募できる。クーポンの発行に当たってパーソナルデータの取得はないが、懸賞が提供されている場合、懸賞を提供する主催企業が当該消費者に連絡を取るために、株式会社アイリッジが消費者からメールアドレスを取得し、スタンプラリーの主催企業に提供する。
- 株式会社アイリッジは、上記の他、消費者の属性から、おすすめのスタンプラリー情報をお知らせ（PUSH通知）する。

実践案における事業者の工夫

- 一般的に「属性情報」などと概括的に記載されることの多い性別、地域などの情報について、「性別」、「地域（都道府県）」とその範囲が消費者に分かるように具体的に記載している。
- 情報項目ごとに取得方法を細分化して具体的に記載し、また、利用目的を情報項目に対応させた上で具体的に特定して記載しており、消費者に分かり易く情報を提供している。
- スタンプラリー主催企業にメールアドレスを提供するスタンプラリーの場合、スタンプラリーの説明ページにおいて、連絡先として利用するメールアドレスの提供先である当該スタンプラリーの主催企業の名称を記載している。
- 消費者の属性に応じたおすすめのスタンプラリー情報のお知らせは、スタンプラリーの実施自体には必須なものではなく、初期設定画面や設定画面において、設定及び設定の変更ができる。

ベストプラクティス（４）：株式会社アイリッジ

1. 本サービスにおいて取得および利用する情報について

パーソナルデータは任意で取得しますが、取得できない場合は実質的にサービスを受けられなくなる恐れがありますので利用目的をご確認くださいませ。

（取得項目/方法）

- ▶ **位置情報**：本アプリによる位置情報の利用を ON（利用可能）にした場合、アプリ起動中継続的に取得します。
※ アプリ初回起動時および設定画面において、位置情報の利用の可否を選択できます。
- ▶ **属性情報**（性別、地域（都道府県））：ユーザーが性別又は地域を選択した場合に取得します。
※ アプリ初回起動時および設定画面において、属性情報の利用の可否を選択できます。
- ▶ **「ユーザー管理番号」**：本アプリによる PUSH 通知を ON（利用可能）にした場合、PUSH 通知を行うためにアプリ内で自動的に生成・取得します。
※ アプリ初回起動時および設定画面において、PUSH 通知の利用の可否を選択でき任意で取得します。
- ▶ **メールアドレス**：スタンプをコンプリートした後に表示される懸賞応募用 Web ページにおいてユーザーが入力した場合に取得します。

（利用目的）

- ▶ **位置情報**：スタンプラリーのチェックインおよびおススメのスタンプラリー情報を判断する際に利用します。
※ 本アプリによる位置情報の利用が OFF（利用不可）の場合、チェックイン機能は利用できません。
- ▶ **属性情報**：おススメのスタンプラリー情報を PUSH 配信する際に利用します。
※ 属性情報を設定しない場合、ユーザーごとにあったスタンプラリー情報は配信されません。
- ▶ **「ユーザー管理番号」**：おススメのスタンプラリー情報やキャンペーン情報などを PUSH 配信する際に利用します。
※ 本アプリによる PUSH 通知を OFF（利用不可）にした場合、おススメのスタンプラリー情報やキャンペーン情報は配信されません。
- ▶ **メールアドレス**：サービスや懸賞に関する連絡をする際に利用します。
※ メールアドレスをご提供頂けない場合、懸賞に応募できません。

- ※ 懸賞にご応募頂いた場合、懸賞の提供元である主催企業がユーザーに懸賞に関する連絡をすることができるようになるため、当社は主催企業にメールアドレスを提供します。なお、各スタンプラリーの主催企業は、当該スタンプラリーの詳細説明ページにおいて確認できます。

（お問い合わせ）smartrally@iridge.jp

（記載例）

※ 主催企業は各スタンプラリーの説明ページにて確認可能。この例では仮に「〇〇〇〇」という名称の会社が実施するスタンプラリーとして記載。



パーソナルデータの取得方法について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

パーソナルデータの取得方法を具体的に記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの項目を十分に細分化し、具体的に記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの利用目的を特定し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの利用目的を、具体的に記載していると考えられる。

パーソナルデータの利用目的が、取得するパーソナルデータの項目と対応して記載されている例。

情報項目ごとに利用目的が記載されており、対応関係が分かり易く記載されていると考えられる。

事業者が取得するパーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その提供先（事後的に提供先を変更する場合は提供先の選定条件を含む）及び提供目的が記載されている例。

提供先の具体的会社・団体名が特定して記載されている。また、提供の目的も明確に記載されていると考えられる。

チュートリアルイメージ

1. アプリ初回起動時

具体的記載は右下「記載内容」を参照

パーソナルデータの取得項目 & 利用目的表示

PUSH通知と位置情報は、初期設定で無効にすることができます。

許可する可/否を選択（任意）

✓ 確認したらチェックして進んでください

1. アプリ初回起動時しパーソナルデータ許諾画面でPUSH通知/属性情報/位置情報を任意で取得します。
※設定→属性項目で変更できます。

※パーソナルデータは修正/変更可能

消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例。パーソナルデータの取得の中止方法が分かり易く説明されていると考えられる。

2. 属性情報の取得/変更方法

属性項目チェック

属性項目の性別、都道府県から択一選択で選ぶ（任意）

送信 キャンセル

✓ 確認したらチェックして進んでください

1. 【アプリ初回時】アプリ起動の際にチェック/もしくは外す。
2. 【利用途中変更】「設定変更→チェックBOXを外してください」

※パーソナルデータは修正/変更可能

3. PUSH通知/GPS変更方法

通知センター

コントロールセンター

おやすみモード

一般

サウンド

壁紙/明るさ

プライバシー

✓ 確認したらチェックして進んでください

1. 【PUSH通知】「端末設定→通知センター→通知表示OFFにしてください」
2. 【位置情報】「端末設定→プライバシー→位置情報サービスOFFにしてください」

※パーソナルデータは修正/変更可能

記載内容： このアプリはユーザーの位置情報と連動して、または連動せずにアプリからお知らせをPUSH通知で送信します。位置情報は、ユーザーの個人情報とは一切結びつかない形で送信されます。送信された位置情報は、おススメのスタンプラリー情報を判断する他、スタンプラリーのチェックインのために利用します。PUSH通知と位置情報は、初期設定で無効にすることができます。

サービス概要

- 「ココロボ〜ド」という掲示板形式のコミュニケーションサービスを通じて、家族でメッセージのやりとりができるほか、家庭内にあるシャープ製の家電をキャラクター化し、家電キャラクターとコミュニケーションをとることで、外出先から部屋の気温などを確認したり、家電を制御したりできるサービス。

パーソナルデータの利活用の特徴

- 消費者が「ココロボ〜ド」に登録した情報や入力する情報、「ココロボ〜ド」に登録されている製品名を利用する。
- パーソナルデータの利活用の範囲は、「ココロボ〜ド」への情報の表示と「ココロボ〜ド」の利用者の傾向分析を含めたサービスの改善のための利用のみであり、その他の目的では利用していない。
- サービスの内容自体はシンプルであり、取得するパーソナルデータの内容やその利用範囲についても、サービス内容から、消費者の想像できる範囲を超えるようなものはないと考えられる。パーソナルデータの取得方法も、「ココロボ〜ド」利用者が登録や入力した場合に取得するのみであり、消費者がパーソナルデータの取得について誤解が生じるようなことは発生しにくい。

実践案における事業者の工夫

- テレビやスマートフォン、パソコンなど様々な端末でパーソナルデータの取扱いに関する情報提供、説明を行わなければならないため、表など複雑な表示方法を取ることができない。パーソナルデータの利活用に関する情報提供、説明が、ストレスなく確認、操作（例えばテレビではリモコンにより操作）できるように、できるだけシンプルに記載している。
 - － 利用するパーソナルデータを利用目的で分類してまとめている。
 - － それぞれの分類について、パーソナルデータの項目と利用目的を対応させている。

＜サービス名：ココロポ〜ド＞

1. 利用情報

お客様が登録または投稿される情報です

1.1. メッセージ

■データ内容

- ・利用者が登録した端末に関する情報
 - 投稿元端末名
 - 利用者がボードを利用した日時
 - 投稿日時
- ・ボードに関する情報(背景、文字情報等)
 - メッセージの投稿先ボード
- ・利用者がボードに投稿したメッセージやシール等の内容
 - シール
 - テキスト
 - 画像
 - 音声
- ・利用者が登録した家族アバターに関する情報
 - アバター名
 - アバター画像

アバター画像

アバター名

ボード名



利用者がボードに投稿した
メッセージやシール等の内容

■利用目的

統計的な分析に活用、ココロポ〜ドサービスの改善、ボードへの表示

■その他特記事項

ココロポ〜ドに投稿すると、必ず取得します。
現時点では、提供する第三者はございません。

1.2. ボードデータ

■データ内容

- ・利用者が登録した端末に関する情報
 - 登録されている端末名
- ・ボードに関する情報(背景、文字情報等)
 - ボード名
 - ボードの背景
 - ボードに紐づくアカウント名
- ・利用者が登録したアバターに関する情報
 - アバター名
 - アバター画像
- ・管理者が当社所定のボードの管理権限を利用して操作した履歴情報

■利用目的

平均的なボード利用者の傾向分析に活用、ボードの表示

■その他特記事項

ココロポ〜ドに登録すると、必ず取得します。
現時点では、提供する第三者はございません。

(各端末における表示のイメージ)

「ココロポ〜ド」の利用規約については、スマートフォン(Android, iPhone)、PC、ネット対応TV(AQUOS)による表示が必要です。

スマートフォンは画面が小さく、TVは表示能力に限界があります。レイアウトを維持しつつ高いレベルで視認性を確保する工夫をしています。

利用規約の表示

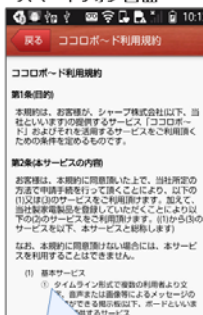
PC画面



AQUOS画面



スマートフォン画面



低いスペックでも
表示出来る必要
がある。
テレビ用のリモ
コンで容易に操作で
きる必要がある

狭い画面でも正し
く表示出来る必要
がある。

パーソナルデータの利用目的が、取得するパーソナルデータの項目と対応して記載されている例。
利用目的ごとに利用する情報を分類し、対応関係が分かり易く記載されていると考えられる。

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。
取得される情報が細分化され、具体的に記載されていると考えられる。

パーソナルデータの項目の取得方法について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。
取得方法が分かり易く説明されていると考えられる。

サービス概要

- 食品を販売するネットショッピングサイト。
- 同サイト内の閲覧履歴や、購入履歴に応じて、消費者ごとにおすすめの商品等を紹介している。

パーソナルデータの利活用の特徴

- 注文を受けた場合、連絡のやり取りや商品の配送のために、メールアドレスや住所、氏名などの情報の取得と利用が必須である。
- おすすめ商品や最適な広告の掲載のために、閲覧履歴や購入履歴を取得し、分析を行っている。
- 閲覧履歴や購入履歴は自動的に取得されるものであるため、消費者にはその取得と利用が分かりにくい。
- 顧客ID情報はシステムの内部的な処理のために付与するものであってサービス画面等において表示されるものではなく、利用者は通常その付与を含めて認識することができないため、消費者にはその取得と利用が分かりにくい。
- 注文を受けた商品の発送等のために、取得した情報の一部を第三者に提供している。

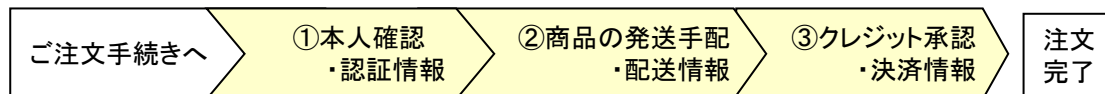
実践案における事業者の工夫

- 取得する情報を、商品の購入と発送に必要な情報と、おすすめ商品の掲載などプロモーションの目的で利用する情報の2つに大きく分け、それらのそれぞれについて、取得する情報の細目を具体的に記載し、個々の情報項目に対応する利用目的を、表形式で分かり易く表現している。
- 取得や利用が消費者にとって分かりにくい閲覧履歴や購入履歴、顧客ID情報について、取得している旨とその利用目的の詳細を丁寧に説明して、消費者に対して明確に説明している。
- 取得したパーソナルデータの第三者への提供について、提供先ごとに、提供の目的と提供する情報を表形式で分かり易くまとめ、消費者に対して明確に説明している。

当サービスを利用し、ご注文手続きの際に取得する個人情報について

当サービスを利用し、商品をご注文頂く際には会員登録は必須ではありませんが、サービスのご提供にあたり、ご注文手続きの際に取得が必要な情報項目と取得目的は以下のとおりです。

《ご注文手続きのフローと、取得する個人情報の取得目的》



《ご注文手続きの際に取得する、個人情報の取得目的及び取得情報項目》

取得目的	①本人確認・認証		②商品の発送手配・配送					③クレジット承認・決済	
取得情報項目	メールアドレス	パスワード	氏名(漢字)	氏名(カナ)	郵便番号	住所	電話番号1	電話番号2	クレジットカード番号 有効期限

《ご注文手続きの際に取得する、個人情報の取得目的の詳細説明》

- ①「本人確認・認証」情報：お客様のご注文及び購入完了、その他情報をお知らせするメールを送付する為に取得します。
- ②「商品の発送手配・配送」情報：お客様のご注文商品の発送手配の為に取得します。
- ③「クレジットカード承認・決済」情報：決済手段でクレジット決済を選択した際に取得します。

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。
 概括的に記載されることの多いパーソナルデータの項目を十分に細分化し、具体的に記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの利用目的を特定し、具体的に記載している例。
 概括的に記載されることの多いパーソナルデータの利用目的を、一覧性をもって確認できるよう配慮しつつ、詳細の説明を追加することで十分具体的に記載していると考えられる。

パーソナルデータの利用目的が、取得するパーソナルデータの項目と対応して記載されている例。
 利用目的ごとに情報項目が記載されており、対応関係が分かり易く記載されていると考えられる。

当サービスの提供にあたり、マーケティング活動のために取得する個人情報について

《サイトへのアクセス及び、サイト閲覧・利用の際に取得する、個人情報の取得目的及び取得情報項目》

取得目的	マーケティング活動					
取得情報項目	顧客ID	閲覧・購入商品	閲覧ページURL	閲覧時間	IPアドレス	ユーザーエージェント (ブラウザID)

《サイトへのアクセス及び、サイト閲覧・利用の際に取得する、個人情報の取得目的の詳細説明》

① 「顧客ID」情報： 当サービスがおすすめする商品情報やキャンペーン情報を配信する「メールマガジンの配信」を目的として取得しています。
当IDはお客様が会員登録をした際に、当サービス側がお客様を特定するために機械的に付与するものであり、お客様はこのIDを知り得ることはありません。

② 「サイトへのアクセス及び閲覧と購買商品」情報：

当サービスを提供するにあたり、お客様が閲覧された商品ページや、商品の購入を完了したページの情報を用いて、お客様にとっての見やすさ、利用しやすさを改善する統計資料に利用することを目的として取得しています。
また、お客様が商品を閲覧された情報や購入完了された情報を用いて、お客様の興味・関心に合わせて、お客様ごとに、有益であると思われる商品の広告を配信する「行動ターゲティング広告」を提供することも取得の目的としています。

取得するパーソナルデータの項目とその取得方法について、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載している例。
「顧客ID情報」は事業者が存在を説明しなければ消費者は存在も知りえない情報であり、「サイトへのアクセス及び閲覧と購買商品情報」は自動的に取得される情報であり消費者にはそれが分かりにくい。本例はこれらに十分配慮して記載されていると考えられる。

取得するパーソナルデータの利用目的のうち、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載している例。
「サイトへのアクセス及び閲覧と購買商品情報」は自動的に取得されて利用される情報であり事業者が説明しなければその利用が分からないと考えられる。本例は、これらに配慮して記載されていると考えられる。

取得した個人情報の第三者提供先と利用目的及び、その有無について

《ご注文手続きの際に取得する個人情報の場合》

当サービスを利用し、ご注文手続きの際に取得する情報項目の利用目的とその第三者提供先、項目ごとの取得及び利用の有無は下記のとおりです。

取得目的		本人確認・認証		商品の発送手配・配送						クレジット承認・決済	
取得情報項目		メール アドレス	パスワード	氏名（漢字）	氏名（カナ）	郵便番号	住所	電話番号1	電話番号2	クレジット カード番号	クレジット 有効期限
利用目的	第三者提供先	取得及び利用の有無（有：●、無：×）									
個人情報管理委託	A社	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×
	B社	●	×	●	●	●	●	●	●	×	×
カスタマーセンター業務委託	C社	×	×	●	●	●	●	●	●	×	×
	D社	×	×	●	×	●	●	●	×	×	×
	E社	×	×	●	×	●	●	●	×	×	×
	F社	×	×	●	×	●	●	●	×	×	×

※ご注文手続きの際に取得している個人情報である為、各取得項目の利用を拒否・停止を希望の場合は、商品の配送キャンセルや、会員ページからの設定変更、または退会が必要となります。

事業者が取得するパーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その提供先（事後的に提供先を変更する場合は提供先の選定条件を含む）及び提供目的が記載されている例。

提供先の具体的会社・団体名が特定して記載されていると考えられる。また、提供の目的も提供先ごとに明確に記載されていると考えられる。

サービス概要

- スマートフォンを用いて、家電とクラウドを連携することによって、会員である消費者の生活スタイルに合わせて家電に機能を追加することで家電を進化させる機能を提供するサービス。
- 当サービスでは、様々な家電を取り扱うことができるが、事前相談評価の試行においては、「体組成計」と「冷蔵庫」を評価の対象とした。
- 体組成計では、計測データのグラフ表示やダイエットアドバイスの表示機能を提供している。
- 冷蔵庫では、消費電力のグラフ表示機能や、冷蔵庫内の食材を利用したレシピ検索機能を提供している。

パーソナルデータの利活用の特徴

- 特に、体組成計で取得される情報については、プライバシー性の高い情報になりうるので、
 - － どのような情報が取得され、どういう目的で利用されるのか、取得を中止したい場合にどのようにすれば良いのかについて、消費者に明確に説明する必要がある。
 - － 第三者提供をする場合、その提供先と提供目的を消費者に明確に説明する必要がある。
- スマートフォンを家電にタッチすることにより、家電内に蓄積された各種情報がクラウドに送信され、情報が取得される。

実践案における事業者の工夫

- 会員には当サービス以外にも様々なタイプのサービスを提供するため、会員登録時に表示するパーソナルデータの取扱いに関する情報提供、説明の他に、「体組成計」や「冷蔵庫」の個別サービスにおけるパーソナルデータの取扱いに関する情報提供、説明を別途作成し、当該サービスの利用開始時等に消費者に対して表示している。
- 表形式で、利用目的ごとに取得する情報を細分化して具体的に示し、同時に取得の停止方法を分かり易く表示している。
- 取得した情報の第三者提供について、提供先の事業者の具体的な名称を明示した上で、提供の目的、提供する情報項目を記載することで、消費者に明確に説明している。

A 分かりやすい説明案(ラベルによる一覧表示)

利用規約を、ラベルによる一覧表示で分かりやすく説明

ラベル	内容
収集者	〇〇〇株式会社
収集情報	お客様による家電の利用履歴、使用態様等の情報、および家電の動作履歴等の家電ログ
収集元	本サービス対応の家電機器
収集方法	対応アプリをインストールしたスマートフォンを、対応家電機器にタッチすることで、家電およびスマートフォンから収集
収集期限	利用許諾後、許諾取り消しまで
利用目的	① より省エネ、より便利となるサービス、または対応する家電を推奨するため。例えば、冷蔵庫の省エネ運転率から省エネにご興味のあるお客様を確認し、照明と連携して自動的にエコモードとなってさらに省エネが期待されるサービスや、対応照明機器をご紹介することを想定 ② 本サービスと関連家電の品質向上、あるいは、新たな家電またはサービスの企画と開発・改良のため ③ 家電またはサービスの利用に関するマーケット分析のため ④ 家電の修理対応およびカスタマーサポート対応のため ⑤ 家電での機能、および家電を通じたお客様への全サービス提供のため
利用範囲	当社の連結決算の対象となる会社
許諾取り消し	収集の許諾取り消しは、家電あるいはサービスごとに可能 登録家電の取り消しは、ポータルの「設定」から当該家電の登録を取り消す サービスの取り消しは、ポータルのアプリ一覧から削除 なお、登録家電を取り消すと、クラウドを用いたサービスは利用できなくなります
第三者提供	・別途、同意なく第三者への提供はしません ・収集した情報をもとにした統計化情報（例えば、マーケティング調査・分析データ、本サービスその他のサービスや商品等に関する利用や嗜好などの傾向分析データなど）を第三者に提供することがあります。ただし、統計化情報は、十分な人数分の元情報を統計化処理して生成しており、統計化情報から個人の特定はできません

パーソナルデータの取得方法について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

パーソナルデータの取得方法を具体的に記載していると考えられる。なお、本例に係るサービスでは、「タッチする」以外のパーソナルデータの取得方法は存在しないため、「細分化」を満たしていると判断している。

事業者が取得するパーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その提供先（事後的に提供先を変更する場合は提供先の選定条件を含む）が記載されている例。

提供先として、同社の連結決算対象の会社としており、提供する会社の範囲が特定されて記載されていると考えられる。

消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例。

パーソナルデータの取得の中止方法が分かり易く説明されていると考えられる。

事業者が取得したパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その加工方法が記載されている例。

パーソナルデータの加工方法が分かり易く説明されていると考えられる。

家電ごとに、取得するデータと利用目的、取得停止方法を表形式で説明

◆ 体組成計から取得する情報

情報	利用目的	取得停止方法※
お客様が入力された身長等情報	体型タイプや目標減量体重に対する達成度を求めるために利用します	家電登録を削除
体重などの計測データ	計測データをグラフ表示してご確認いただくために利用します	家電登録を削除

◆ 冷蔵庫から取得する情報

情報	利用目的	取得停止方法※
省エネ運転率 （省エネ運転時間の割合）	省エネ運転の状況をお客様自身でご確認いただくことができます	家電登録を削除
庫内つめこみすぎに関する情報 （光センサー情報）	省エネ運転の状況をお客様自身でご確認いただくことができます	家電登録を削除
扉の開閉回数	省エネ運転の状況をお客様自身でご確認いただくことができます	家電登録を削除
庫内の温度／外気温度	今後、故障徴候および原因の検知のために利用する予定です 現時点では、取得情報と故障徴候との間の関係を確認中です	家電登録を削除

※）お客様がタッチをしないことで、家電からのデータ取得を停止することができます。間違えてタッチした場合、あるいは家電への設定等でタッチした場合であっても、データの取得をしないようにするには、家電登録の削除を行う必要があります。

A に追加して、サービス内容を分かりやすく説明

◆ ダイエットメモサービスの場合（体組成計の情報を利用）

ダイエットメモサービスに関して

本サービスは、体組成計とクラウドを連携して次の機能を提供します。

- ① 計測データのグラフを作成します
- ② あなたの体型タイプを計算します
体型タイプごとのダイエットアドバイスをします

このため、スマートフォンを体組成計にタッチすることで、計測データをクラウドに保管します

くわしくは、利用規約（免責事項）をご確認ください。お客様が利用規約に同意いただいた後に、弊社手続きを経て、ご使用が可能となります。

利用規約を確認へ

中断

取得するパーソナルデータの項目について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの項目を十分に細分化し、具体的に記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの利用目的を特定し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの利用目的を、具体的に記載していると考えられる。

パーソナルデータの利用目的が、取得するパーソナルデータの項目と対応して記載されている例。

情報項目ごとに利用目的が記載されており、対応関係が分かり易く記載されていると考えられる。

消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例。

パーソナルデータの取得の中止方法が分かり易く説明されていると考えられる。

消費者が事業者によるパーソナルデータの取得の中止又は利用の停止が可能であるかが記載され、可能である場合には取得の中止方法又は利用の停止方法を明示して記載している例。設定等のために家電にスマートフォンをタッチする場合があります、それにより情報が取得される場合があることを明確に説明することで、消費者が確実にパーソナルデータの取得の中止をできるように配慮していると考えられる。

取得するパーソナルデータの取得方法について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

パーソナルデータの取得方法を具体的に記載していると考えられる。なお、本例に係るサービスでは、「タッチする」以外のパーソナルデータの取得方法は存在しないため、「細分化」を満たしていると判断している。

×××マタニティサービスに関して

×××マタニティサービスは、株式会社△△△が提供する有料スマートフォンサイトです。赤ちゃんが欲しいと考え始めてから育児までをサポートします。

より詳細には、次のURLをご覧ください。 URL:*****

×××マタニティサービスにおいて、あなたの同意のもと、家電サービスに蓄えられているあなたの「体重データ」を用いることができます。

×××マタニティサービスからの利用を許可する場合は、家電サービスでご利用のログインID/パスワードを入力し、「許可する」としてください。

ログインID

パスワード

許可する

許可しない

第三者提供
サービスへ

事業者が取得するパーソナルデータやパーソナルデータを加工したデータを第三者に提供する場合、その提供先（事後的に提供先を変更する場合は提供先の選定条件を含む）及び提供目的が記載されている例。

提供先の具体的会社・団体名が特定して記載されている。また、提供の目的も明確に記載されていると考えられる。

※本例では、具体的会社名は「株式会社△△△」と仮称になっている。

サービス概要

- 自社に関する情報や自社の提供するサービスに関する最新情報を提供するオフィシャルメールマガジンを配信するサービス。
 - ※ シナジーマーケティング株式会社は、事業者に対して、オフィシャルメールマガジン配信システムを提供している。シナジーマーケティング株式会社は、当該システムを利用してメールマガジン配信サービスを提供する事業者に対して、当該事業者が当該サービスを提供するに当たって利用規約、プライバシーポリシー等において行うべき、「パーソナルデータの取扱いに関する情報提供、説明」を案内している。シナジーマーケティング株式会社は、当該案内している「パーソナルデータの取扱いに関する情報提供、説明」を評価対象として、事前相談評価に参加した。

パーソナルデータの利活用の特徴

- （メールマガジン配信システムを利用する事業者のパーソナルデータの利活用の特徴）
- 自社のWebサイト内の閲覧履歴を自動的に取得し、メールマガジンの送り分け（閲覧履歴に応じて配信するメールマガジンを判断）、メールマガジンの内容の最適化のために利用している。
 - メールの開封情報を自動的に取得し、未開封者へのメールマガジンの再告知などに利用している。
 - メール内に記載されているURLのWebページの閲覧履歴（URLのクリック履歴）を自動的に取得し、当該ページの閲覧者向けのメールマガジンの配信のために利用している。
 - 取得したパーソナルデータは自社のみで利用しており、第三者提供は行っていない。

実践案における事業者の工夫

- 自動的に取得される情報は、消費者にとって取得していることが分かりにくいことから、取得している項目を明記している。

ご同意いただくと、以下の情報がシステムに送られます。

取得した情報は弊社からのお知らせの配信や配信結果の取得のみ利用し、第三者に提供されることはありません。

- ・利用端末情報（ユーザーエージェント）
- ・閲覧履歴情報
- ・Cookie情報
- ・メール開封情報
- ・メール内URLClickCount

＜文例サンプル＞

【サービス利用を許諾いただいた場合の情報について】

サービス利用に許諾をいただいた場合、以下の情報を自動的に取得します。取得した履歴情報はメールの送り分けや最適なコンテンツを制作するためのほか、弊社からのお知らせの配信や配信結果の取得のみ利用し、第三者に提供されることはありません。

・利用端末情報…ユーザーエージェントからPC,iPad,Android,Blackberryなどの端末情報を取得します

・閲覧履歴情報…弊社サイトの閲覧ページURL

・Cookie情報…ウェブブラウザに弊社サイトの閲覧履歴、ログイン状況を記録します。これにより、弊社webページの円滑な表示やログイン認証を行います。お客様はウェブブラウザの設定を変更することにより、クッキーの受け取りを拒否、または警告を表示することができます。ただし、受け取りを拒否された場合には弊社が提供するサービスへのログインがご利用できなくなる場合がございます。ご了承ください。

・メール開封情報…開封履歴の集計や未開封者への再告知などに利用します。

・メール内URLClickCount…閲覧履歴の集計や閲覧者向けの個別告知などに利用します。

パーソナルデータの取得方法について、可能な限り細分化し、具体的に記載している例。

パーソナルデータの取得方法を具体的に記載していると考えられる。

取得するパーソナルデータの項目とその取得方法について、消費者にとって分かりにくいものを明確に記載している例。

パーソナルデータが自動的に送信される場合、消費者にはそれが分かりにくいことから、これに配慮して記載されていると考えられる。

ユーザー登録（個人情報に関する項目）

お申込み前に必ず下記の注意事項をお読みください。

■メールアドレスの記入に誤りがあると、当社よりご連絡ができない場合がございますので、ご注意ください。

■ご記入頂いた個人情報は、下記の目的で利用させていただきます。

- ・サービスに関するお知らせの配信(email)
- ・イベント／セミナーなどの登録。申込み確認
- ・サービスの利用統計としての分析などに利用

取得するパーソナルデータの利用目的を特定し、具体的に記載している例。

概括的に記載されることの多いパーソナルデータの利用目的を、具体的に記載していると考えられる。

注意事項

- 「パーソナルデータの取扱いに関する消費者に対する情報提供、説明」の検討に当たっては、自らが提供するサービスによく向き合い、消費者のどの情報をどのように使うのかについてよく確認し、消費者に具体的にどう伝えるのが、消費者の誤解を避け、信頼関係の構築に資するのか、十分に考慮する必要がある。
- 事前相談評価の試行は、「消費者に対する情報提供、説明」の内容について評価したものであり、「他社の参考になる」と評価した範囲もこの範囲に限られる(*)。
- 事前相談評価の試行では、協力事業者が提供予定又は変更予定のサービスも評価対象にしている。従って、事前相談評価の試行実施時におけるサービスの内容と、実際に提供されるサービスの内容が異なる場合があり得るほか、当該サービスが実際には提供又は変更されないことも想定され得る。このため、一部のベストプラクティスにおいては、協力事業者の社名を仮称にしている。

* 経済産業省取りまとめた2014年3月26日付『パーソナルデータ利活用ビジネスの促進に向けた、消費者向け情報提供・説明の充実のための「評価基準」と「事前相談評価」のあり方について』の「1.3 本事業における検討及び評価基準の範囲」を参照。